

宗四小だより

8・9月号

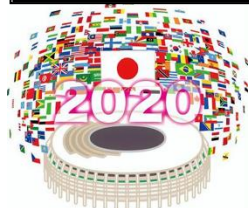
志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡1-1-2
048-473-5250



<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 572 名 令和3年8月 30 日発行

目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



「オリンピック出場 内村航平選手」



校長 高柳 政行

東京オリンピック終了後、しばらくたってから体操の内村航平選手（鉄棒種目で金メダルが期待されていたが落下し予選落ち）がテレビのインタビューに答えていました。「さすがに落ちこみましたね。3日間くらいはかなり。一生後悔するんだろうなとか、なんでできなかったのだろうとか。思い出したくないけれど自分で答え探しをしているみたい」と話し始めました。次に落下の原因について「最後の最後まで自分を疑いたいみたい。そこがちょっとできていなかったんじゃないかな。努力って何なのかというのを改めて考えさせられました」さらに、これまでのオリンピックとは違う意義を感じたと言い「オリンピックは出ることに意味があるみたい。ぼくは、最初わからなかったんです。最初は。出るだけでは意味がないと思うけどなと思っていたんですけれど。実際自分がこうなってみて、いやあるんだなと。失敗したとしても人生の教訓をたくさんもらえるので、出るだけで意味があるんだなというのは思いました」と。

内村選手は2016年のリオデジャネイロオリンピックでは団体と個人総合で金メダルを獲得しています。そのとき、「本当に幸せ者だと思う。うれしいというより幸せです」と語っていました。絶対王者として世界一として君臨した内村選手でさえも、落ち込んだり、失敗したりしながらもしっかり前を向き、自分で答えを探し続けています。その姿は、私の心に響き、そして、人生の教訓についても考える機会となりました。

内村選手は、次の世界選手権、種目別「鉄棒」に出場する予定です。インタビューでは「無駄な努力はないと証明したい。世界選手権に向けて改めてちゃんとやりたい。それしかないです。」と締めくくっていました。



MIRAITOWA



SOMEITY

東京オリンピック・パラリンピックでは多くのドラマが繰り広げられ、学ぶことも多くあります。私たち教職員、保護者・地域の皆様も共に大いに学びましょう。そして、子ども達にとっても生きる上で大切なことを学んだり、共感したりする機会となるよう共に語りあいましょう。

新型コロナウイルス感染症への対応についてのお願い

- 1 新型コロナウイルスへの感染が、急拡大しています。小学生の感染経路は、ほとんどが「家庭内感染」です。これまでもご協力いただきましたが、今一度、感染防止対策の基本に立ち戻り、家庭内にウイルスを持ち込まない対策をお願いします。
- 2 お子さんやご家族の方が発熱された場合や感染された場合は速やかに学校にご連絡をお願いします
- 3 感染者に対して励ましの心を持ち、誹謗中傷や差別的な言動を許さない行動をお子さんにお示ください。
- 4 緊急事態宣言中やその後の状況に応じて、学校行事等の中止、延期、一部制限等の対応をさせていただきます。原則として学校では引き続き感染症予防の徹底を図りながら可能な限り学びを止めず、教育活動を推進してまいります。ご理解とご協力をお願いします。